



2月の主な行事

1日 :	生活習慣病予防週間	9日 :	肉の日、福の日
3日 :	節分	11日 :	建国記念の日
4日 :	立春	14日 :	バレンタインデー
7日 :	北方領土の日	20日 :	歌舞伎の日



今月のかわら版 : 1 「 静電気を防ごう 」

冬になると発生しやすくなるのが静電気…。服を脱ぐ時や、何かに触れた時、パチッと痛い思いをしてしまいますよね。

なぜ起こる？

どんな物体でもプラス(+)とマイナス(-)の電気がバランスを保ち安定しています。ところが、摩擦などの強い力が加わるとこのバランスが崩れ、電気的に極性が一方に片寄ってしまい「帯電状態」になります。その「帯電状態」の時に、電気の通りやすい金属などに触れるとプラスとマイナスのバランスを元に戻そうとして電気が流れるのです。パチツとなる静電気は、その放電の瞬間なのです。

なぜ冬場に静電気が発生しやすいのかは、湿度に関係があります。空気中の湿度が高いと、人間に静電気がたまって、電気の逃げ道が空気中にあるため自然に放電するのですが、湿度が低いと自然放電されずに体内にたまってしまいます。

静電気対策

- ・室内は、加湿器等を使って湿度を上げましょう。
- ・一般的に麻や綿などの天然素材は保湿性に優れているため、化繊や合繊と比較して静電気が起きにくくなっています。重ねて使用するときは、同じ素材のもの同士や、天然素材を組み合わせると静電気をおさえることができます。
- ・洗濯の時に柔軟剤を使うと柔軟剤の成分が水分を吸収して滑らかになります。また、静電気を防止するスプレーも便利です。
- ・車の乗り降りの際、キーをボディなどの金属部分に接触させてからドアノブを触ったり、車から降りる時は、フレームを触りながら体をシートから離すとパチツとなるのを防げます。

最近では、いろいろな静電気防止グッズが売られているので試してみるのも手ですね。不快な静電気を防いで、快適な冬を過ごしましょう。

今月のかわら版 : 2 「 かわいいペットも自然界では『エイリアン』に変身 」



沖縄や奄美大島には、もともとは生息していなかったマングース。長年住民に被害をもたらしていたハブ退治のために、海外から持ち込み森に放たれたのが始まりとされています。しかしながら、そのマングースはハブは食べずに鶏や野鳥などを襲うなどして増えてしまい、その結果、ヤンバルクイナやアマミノクロウサギなどの希少動物を絶滅の危機に至らしめる原因となり、今は逆にその退治に追われています。

マングースに限らず、琵琶湖に持ち込まれたブルーギル(北米原産の淡水魚・雑食で繁殖力が強い)が小魚を食べ過ぎてしまった問題など、人為的に外来生物を移入したことによる問題は、日本の各地でも広がっています。

地域の生態系は、動植物相互が何万年にわたって少しずつ変化してその地域での生息バランスを形成してきました。ブルーギルやマングースなどその土地にいなかった強い生き物が、突然SF映画の「エイリアン」のように侵入者として現れると、それまでそこに棲んでいた動植物は侵入者に対する逃げる術もないため、短期間で滅亡する結果となってしまうのです。

こうした問題は私たちのちょっとした行動でも引き起こす場合があります。10年前の北海道では、それまでペットとして飼っていたアライグマが野生化し、その地域の希少動物を絶滅させてしまったとの報告が出されました。アライグマはもともと北米で生存する雑食の繁殖力の強い動物です。ペットブームにより一般家庭でもペットとして飼育されるようになりましたが、一方で簡単に捨ててしまう人が後を絶たないため、こうした結果を引き起こしたようです。

ペットが野に放されれば、そのペットは自分の生存のために「エイリアン」となり、他の動植物を捕獲するなどその地域の生態系に大きな影響を与え、場合によってはその地域の生態系を破壊する可能性が出てきます。一度破壊された生態系が回復するためには長い時間が必要となります。また、一度絶滅した種は二度と地球上には生存できなくなります。

一度飼ったペットは、そのペットが死ぬまで一生飼い主が面倒を見ることが人間にとって最低限のマナーでもあり、ルールであることをよく理解する必要があります。